

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和3年5月28日

下妻市長 様

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2  
さいたま新都心LAタワー  
名称 株式会社クリーンエ  
代表者氏名 代表取締役 川 鍋 大  
電話番号

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和2年度事業報告書を提出します。

- 1 公の施設の名称  
ビアスパークしもつま
- 2 管理業務の実施状況  
別紙のとおり
- 3 利用状況及び利用拒否等の件数・理由  
別紙のとおり
- 4 使用料又は利用料金の収入実績  
別紙のとおり
- 5 管理経費の収支状況  
別紙のとおり
- 6 その他

## 1、管理業の実務状況

### 経営環境について

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済が急速に収縮するなか、個人消費は外出自粛や移動制限により停滞しています。

企業収益もインバウンド需要の消失や経済活動の抑制により大幅な悪化となりました。

一方で、「テイクアウト・デリバリー」や「巣ごもり需要」「テレワーク」など新しい生活様式に対応した企業の躍進が見受けられます。

このような状況下でピアスパークしもつまの指定管理業務を実施するにあたり、機動力をもって柔軟な事業構築を行いました。

具体的には

- ・徹底した感染症対策
- ・需要減少に対応したコストの削減
- ・業務の効率化
- ・不採算事業の事業転換
- ・新たな収益の創造

を目標に管理業務を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の期間を休業しました。

令和2年3月30日から5月29日の61日間

令和3年1月18日から2月20日の34日間

計95日

この結果、本年度の総売上は84,540千円(指定管理料及び休業期間中の支援金12,500千円を含む)となり、最終的な収支は40,101千円の赤字となりました。

しかしながら、事業をゼロから見直した結果、損益分岐点の大幅な引き下げができ、新型コロナウイルスの影響を脱した際には黒字化可能な状態へと転換することができました。

### 【温泉部門】

新型コロナウイルスの影響及び休館により入場者が大幅に減少し、入場者数は71,918人(前年比48.6%)となりました。

売上は36,577千円(前年比62.3%)と減少しました。

利用者数の減少に対応すべく、三密を気にするお客様への家族風呂の販売や、テレワークにも対応した休憩個室とのセット販売など、高単価な商品の販売に注力いたしました。

また、お客様満足の上昇のため、ゲーム機及び夏季のこどもプールの無料開放や、マンガの充実、レディースデーやメンズデー、キッズデー等のイベントを実施しました。

その結果インターネットサイト「ニフティ温泉」の2020年間ランキングにおいて「茨城県で家族に人気の温泉第3位」を受賞することができました。

#### 【ホテル部門】

宿泊業については、新型コロナウイルスの影響を最も受ける業種です。年間利用者は 1,448 人(前年比 19.5%)、年間売上は 14,762 千円(前年比 30.3%)と大幅に減少いたしました。

それにとまないホテル稼働率の維持のため、従前の温泉ホテルから宿泊特化型ホテルへと業態の変更を行いました。

これにより、稼働率の減少幅縮小及び固定費の削減ができたほか、飲食をご希望されるお客様に対して市内飲食店の地図を配布して案内をする等、積極的に下妻市内へ送客したことにより地域経済の活性化に寄与しました。

#### 【レストラン】

新型コロナウイルスによる需要減に対応するため、令和 2 年 9 月をもってレストランの一般利用を休止いたしました。

また、宴会やバーベキューなど感染リスクの高い事業も休止しております。

よって、年間利用者数は 4,293 人(前年比 25.7%)、売上は 3,729 千円(前年比 14.2%)となりました。

レストランの休止により、固定費の削減ができ、全体の赤字幅の縮小ができました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館中に、ドライブスルー形式でお弁当の販売を行いました。これにより売上の維持ができたほか、お客様には格安で販売したことから、学校休業中の地域家庭への貢献を行うことができました。

#### 【農産物直売部門】

農産物直売所は、減少する来客者を取りこぼさないように、売り場面積の拡大と取り扱いアイテムの増加を行いました。

これにより、温泉利用者に対する売店利用の割合は、令和元年度の 26%から本年度の 51%へと、大幅に向上しました。

その結果、年間利用者は 37,233 人(前年比 96.0%)、9,720 千円(前年比 45.8%)の売上となりました。

なお、お客様一人当たりの売上は減少しました。これは比較的高単価な宿泊客の減少によるものです。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館中に、地元産野菜を箱詰めでの販売を行いました。

これにより、生産者様の販路拡大と弊社の事業領域拡大を行うことができました。

#### 【業務効率化】

いままで①ホテルフロント、②温泉フロント、③売店レジと 3 つに分散していたフロント業務を 1カ所に集中して対応できるようにレイアウト変更を行いました。

これにより、社員がお互いの業務をカバーできるようになり、お客様へのサービス向上及び人件費削減が可能になりました。

#### 【人材の育成】

少ない人数で業務に対応するため、社員の多能工化を進めました。人件費削減につながったほか、各社員が互いの業務を理解したことにより、より経営的視点での業務が行えるようになりました。

#### 【地域社会への貢献】

医療崩壊を防ぐため、弊社は茨城県に対してビアスパークしもつまを新型コロナウイルスの軽症者受入れ施設へ提供することを申請いたしました。

また、新型コロナウイルスと戦う医療従事者を応援するため、茨城県看護協会の会員に対し、日帰り温泉の無料提供を行いました。

また、フロントロビーを商工業者に対して無料開放を行い、新型コロナウイルスの影響を受ける地域経済を活性化することに寄与いたしました。

2、利用状況及び利用拒否権の件数・利用拒否の件数・理由

(1)

各売場	利用者数
温泉利用	71,918 人
ホテル利用	1,448 人
レストラン	4,293 人
大広間	0 人
宴会・会議	975 人
レストラン合計	5,268 人
農産物直売所	37,233 人
体験農園	0 人
バーベキュー	0 人

(2)利用拒否等の件数

拒否権数 0件

3、使用料又は利用料金(消費税及び入湯税を含む)

(単位:千円)

温泉部門	36,577
ホテル部門	14,762
飲食部門	
レストラン	3,729
温泉大広間	0
宴会	0
会議	0
売店部門	9,720
加工体験部門	0
バーベキュー部門	0
会議室利用	164
温泉販売	2,360
その他	4,728
合計	72,040

4、管理経費の収支状況

公の施設に係る収支状況報告書(令和2年度)

(単位:千円)

		科目	2021/3	
収入		ビアスパーク売上高	72,040	
		指定管理料及び支援金	12,500	
		収入合計	<b>84,540</b>	
支出		売上原価	11,695	
		販売費及び一般管理費	112,946	
	販売費及び一般管理費内訳		人件費	40,223
			広告宣伝費	377
			販促費	2,197
			水光熱費	32,034
			備品・消耗品費	4,623
			保守修繕費	1,994
			リース料	1,831
			租税公課	17,672
			通信費	801
			支払手数料	896
			車両修繕	222
			外注費	5,168
			クリーニングリネン	4,502
			家賃	6
			諸会費	400
	支出合計	<b>124,641</b>		
		収支	<b>-40,101</b>	